

重要課題

地域循環 地域の健康

関連するSDGs



地域社会の持続的成長と地域密着の深化 ～「つながり」と地域共創～

高齢化が進む日本において、健康寿命の延伸は国だけでなく、自治体でも本格的に取り組むべき課題となっており、若いころからの生活習慣病予防が欠かせないとされています。また、自治体と企業が連携し、地域住民だけでなく地域全体が健康になるための取組みが求められています。

平和堂は、「地域が元気」＝「人が元気で地域活動が活発で地域経済が回っている状態」であるために、地域の方々と連携しながら様々な取組みを進めます。

地域商品

地元の商品の品揃えに加え、商品のストーリーがわかる



地域活動

伝統行事、地域スポーツなどのお手伝い



コミュニティの場

色々な人と情報交換できる場がある



お店の地域密着の深化が進むほど、地域や社会との連携・連動も進む



健康

お客様のライフスタイル全般での健康的な取組みのご提案



子育て

「らぶきっず」会員様など地域のお子様の情報豊かな子育てをお手伝い



高齢者

生涯元気で楽しく暮らすための様々な取組みのご提案



お客様への店頭啓発・ご提案

平和堂では、健康を維持するための規則正しい食生活のあり方や、生活習慣改善を心がける様々な取組みを行っています。

▶ 厚生労働省推奨「野菜摂取量1日350g」の啓発

デリカ売場でのPOP掲示や、一部総菜に一目で野菜摂取量がわかるように例えば「1/3日分の野菜が摂れる」のシールを貼るなど、毎日適切な量の野菜を摂取できるよう店頭での啓発を行っています。



▶ 健康商品の強化

減塩商品や管理栄養士監修のカロリーを抑えた商品の品揃えの強化に取り組んでいます。

▶ お料理冊子「美味食彩」でのレシピ提案(毎月発行)

旬の食材を活用したレシピのほか、健康な食生活を意識していただくために「減塩」や「腸活」、「低カロリー」など、毎月テーマに沿った活用術をお伝えしています。



▶ 口内環境改善の取組み

月1回の歯ブラシ・歯間クリーナー交換デーとして販促強化や、行政やメーカー様とのオーラル関連イベントを共同開催。

▶ 生活習慣改善の取組み

睡眠サポートのための売場・商品展開などに取り組んでいます。

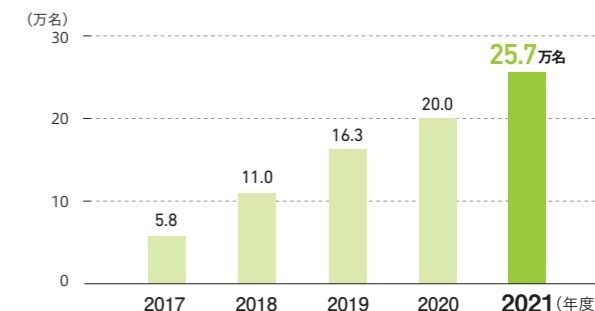
子育てプロジェクト

平和堂ではお子様の豊かな心を醸成することを目的とし、これまで多くの体験イベントなどの活動を実施してきました。また、地域・行政・協力企業との連携により、お客様の生活全般に関わることで、平和堂が地域になくはならない存在になるため、「らぶきっず」の取組みをさらに推進させています。



らぶきっずアプリ会員募集チラシ

「らぶきっずアプリ」会員様の推移



お子様向け参加型イベント

- お仕事体験
- 手形アート
- 読み聞かせ
- クイズラリー など

保護者様向け

- らぶきっず会員アプリを活用したお買い得情報提供
- 店内設備の充実
- 悩み事解決
- お買い得情報

すまいる・あくしょん

2021年4月1日、平和堂は滋賀県が進める「すまいる・あくしょん」※1に賛同し、取組みを宣言しました。平和堂では、「すまいる・あくしょん」の行動指標に基づき、子どもたちはもちろん大人の笑顔も増やすことのできる店づくりや店舗イベント、地域団体との連携イベントなどを行い、子どもたちの笑顔と豊かな心の成長をサポートしています。

2021年12月12日に開催されたすまいる・あくしょんフェスタでは参加されたお子様へ、お買い物体験でお楽しみいただきました。

※1「すまいる・あくしょん」
2020年10月、どのような環境下でも子どもの笑顔を増やすことを目的に、滋賀県によって策定された新しい行動様式。子どもたちの未来につながる7つの行動指標があり、それぞれ「子どもが自分自身のために行動できること（子どもあくしょん）」と「子どもが必要としていることに対して大人が行動すること（大人あくしょん）」の視点で取組みを実施しています。



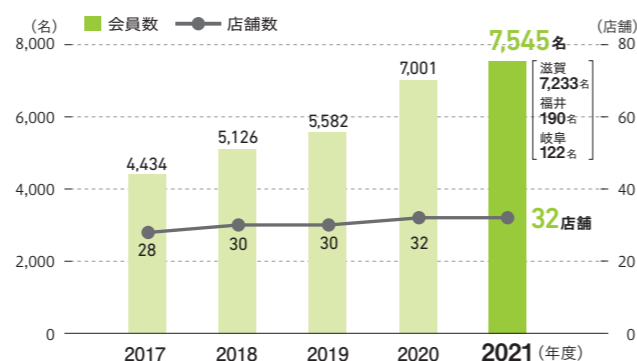
取組宣言書

ホーム・サポートサービス

少子高齢化や地域コミュニケーションの希薄化など社会環境の変化が進む中、小さなお子様をもつご家庭や、健康上の理由、そして交通網の弱体化などで日常の買い物が困難な方々への対応のため2010年に開始したお買い物代行の「平和堂ホーム・サポートサービス」。行政との見守り協定による連携も取りながら、日々のお買い物だけでなく、暮らしの中での困りごとも解決すべく、地域の安全安心な暮らしを支える一翼を担っています。

2019年度にはサポートエリアが滋賀県全域となり、さらなる社会的課題を解決する取組みとして、2020年度にはサポートエリアを福井県と岐阜県に広げ、一部エリアからサービスを開始しています。

会員数と取扱い店舗数の推移



移動スーパー（「滋賀県甲賀市移動販売モデル事業」）

平和堂は、「平和堂ホーム・サポートサービス」で培った経験を活かし、滋賀県甲賀市が主体となって推進する「甲賀市移動販売実証実験事業※2」を受託し、移動販売事業を開始しました。

2021年6月より、毎週月曜日から土曜日にアル・プラザ水口から甲賀市内39カ所を巡回し、地域住民のお買い物のご不便解消のほか、地域交流の場の提供、見守りの協力など、地域の皆様の安全安心な暮らしのサポートを行っています。

※2 甲賀市移動販売実証実験事業
高齢社会に伴い、生活に不可欠な買い物に行くことが困難な高齢の方等を支援するため、甲賀市が主体となり、市内での今後の移動販売の有効性を検証するもの。平和堂の他、市内小売店、区・自治会、自治振興会、社会福祉協議会なども協力。



移動販売車

地域サロン

「地域共創」を目指す平和堂では、「地域住民が集い、つながり、生活が豊かになるきっかけを得てもらう場」になることをコンセプトとして、アル・プラザ武生に「地域サロン」を開設しました。お客様がお買い物以外の目的で来店し、卓球や囲碁将棋などのコンテンツを通じて、世代の異なる学生とシニアの方々とのつながりや交流も生まれ始めています。

店舗が地域のハブとなり、地域・人・情報・店舗を結びつけ、地域課題やニーズを吸い上げ、解決や新しい価値の提供につなげることで、地域共創ループの循環に寄与する機能を果たしています。今後は既存事業とのつながり構築や、地域の方々とのイベント企画などさらに深化を進めます。



足湯コーナー

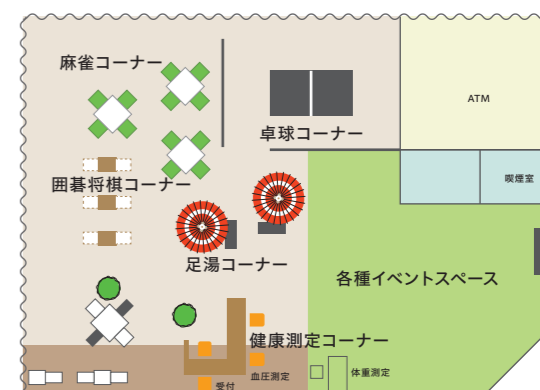


健康測定コーナー



囲碁将棋コーナー

アル・プラザ武生の地域サロン「おとな・Re」



平和堂ファーム

滋賀県の経済の中心の一つであり、重要な産業である農業における課題を解決することは、地域を活性化させるうえで欠かすことができません。地域農業の課題である農業者の高齢化・担い手不足の解消、そして平和堂の魅力ある売場と安定供給の実現に向けて2020年8月に「平和堂ファーム」を開場しました。スマート農業による省力化や、滋賀県の伝統野菜（新兵主かぶ）



の復活、就農支援など、地域と連携をはかりながら、さらにはエネルギー転換によるCO₂排出量削減の環境対策も進め、持続可能な農業の実現を目指していきます。

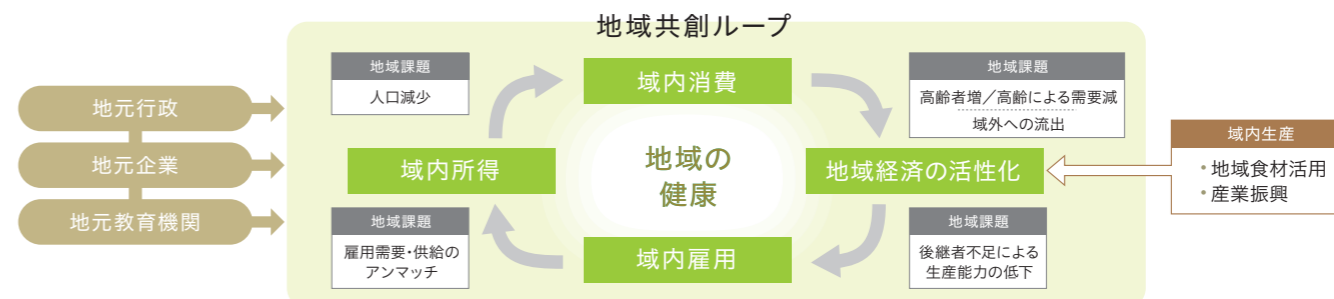
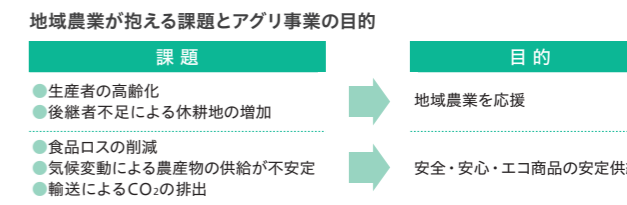
平和堂ファーム
HEIWADO-FARM

従業員数：15名（うち、正社員4名）
2022年3月現在

堤園場 農地面積：約91a (9,100㎡) 栽培方法：施設栽培（ハウス） 栽培品目：いちご、ミニトマト、小かぶ	吉川園場 農地面積：約25a (2,500㎡) 栽培方法：露地栽培 栽培品目：小かぶ
--	--

平和堂ファーム3つの約束

安全安心	新鮮	地域貢献
平和堂ファームの農産物は厳密な生産管理体制のもと生産し、日々お届けします。化学合成農薬、化学合成肥料の使用量を削減し、環境にやさしい農業に取り組みます。	収穫後直ぐに店舗に納品し、新鮮な農産物をお届けします。	農場運営を通じて地域に貢献できるように努めます。



重要課題

人権 多様な人材の活躍

関連するSDGs



平和堂は、性別や年齢、雇用形態などに関係なく、全従業員が各々の強みや個性を發揮し、成長し続けることのできる会社を目指しています。

人材育成

年間を通じた教育計画に基づき、役職・階層に応じた教育研修を実施しています。職務や等級に応じて必要なスキルが明確化されたオープンな教育カリキュラムにより、誰もが成長シナリオを描くことができ、自ら学ぶことを推奨する環境になっています。こうした学びの機会や環境を提供することを重視し、全従業員の育成・成長を支援できる体制を整えています。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止していた集合研修や会議は、ICTデバイスをフル活用したオンラインに形を変えることで移動時間削減による店舗勤務時間の拡充を確保しながら、必要に応じ集合研修を組み込むことで、効果・効率の最大化に向けて取り組んでいます。



タブレットを活用した研修風景

人事制度「スマートワークスタイル」

平和堂では、休職制度や時短制度を盛り込んだ「ゆとりライフ制度」を制定・導入して以来、時代の変化に合わせて独自の制度、見直し・拡充をはかってきました。これまでの制度をさらに充実させ、不妊治療による限定勤務地制度・短時間勤務制度が適用になるなど、ワークライフバランスや、ライフステージに合わせたキャリア形成が可能となりました。2021年には、呼称を新たに「平和堂スマートワークスタイル」に改称しました。

▶男性の育児休職取得促進に向けて

男性の育休取得による家事や育児への参加が、女性のキャリア形成や活躍につながると考え、新しい育児休職の整備を進めました。男性育休検討チームを7月に立ち上げ、社内の声を反映させるべく取得対象者世代にアンケート調査を実施し、検討を重ねたのち、育児休職制度を改定しました。育休取得者が増えることで、職場でもマルチスキルの向上や業務分担が進み、従業員個々のスキルアップにもつながると考えています。男性育休は女性の活躍推進を進めるだけでなく、介護や看護での休職など、多様な働き方を推進していくための一要素だと考えています。

▶はとパパ・はとママセミナーの開催

育児休職中および子育て中の従業員を対象として、子育てと仕事の両立をはかるため毎年セミナーを開催しています。2021年度は新人事制度「スマートワークスタイル」の周知のため、事前アンケートを実施し、より制度への理解を深めてもらうセミナーにしました。



対面方式とオンライン参加のハイブリッド型でセミナーを実施

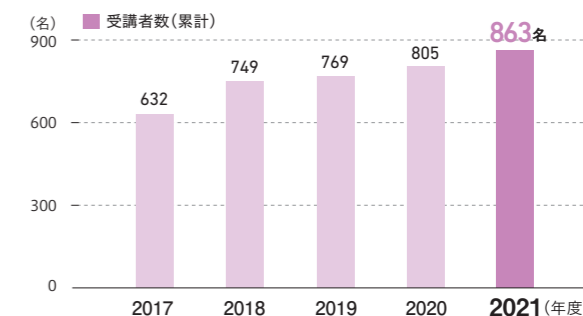


女性活躍推進

平和堂は2030年までに、女性管理職比率を15%にすることを目標としています。グループ報では、従業員(特に女性)の目標形成や今後のキャリアを考えるきっかけとなるよう、働き方のモデルケースを掲載しています。モデルの雇用形態は限定せず、幅広い役職や経歴のケースを紹介することで、キャリアアップをより身近に感じ、キャリア形成をはかってもらえると考えています。

また、毎年開催するキャリアアップセミナーでは、広く参加希望者を募るため、従来の選抜型セミナーから公募制に変更し、2021年度はオンラインで開催しました。セミナー開始以降、延べ863名が参加し、セミナー受講者の中から、管理職への登用も行っています。

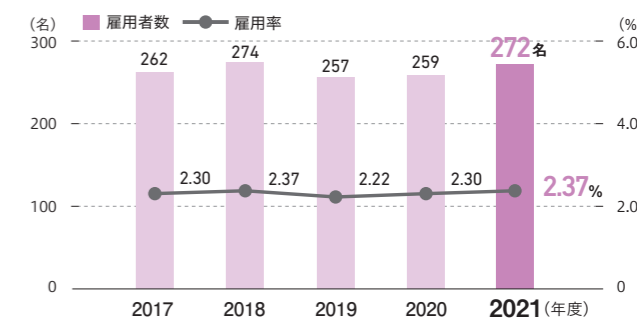
キャリアアップセミナー受講者の推移(累計)



障がい者雇用

障がい者雇用の推進に向けて、障がい特性に応じた業務内容や勤務体系、特別支援学校や支援機関等からの実習受け入れなど、一人ひとりがやりがいをもって働くことのできる環境づくりに努めています。障がいのある方を積極的に多数雇用している事業所として2021年度、京都府より「障害者雇用優良事業所表彰」を受賞しました。

障がい者数・雇用率の推移 ※平和堂のみの数値((株)サニーリーフ除く)



健康経営への取り組み

専属の産業医、保健師、看護師が常駐する健康サポートセンターを設置し、全従業員の健康をサポートしています。毎年実施する定期健康診断受診率は常に100%を維持し続けています。

また、従業員の血圧数値等を活用してもらうため、他企業の研究への情報提供も行っており、社員の健康は会社の資源の一つと考え、健康管理・健康増進活動を経営の一環として戦略的に実践していきます。

今後は喫煙対策や、医師指導によるより細やかな管理にも取り組んでいきます。

Column

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2021年6月より専門チーム「ワクチン接種推進チーム」を立ち上げ、職域接種を実施しました。平和堂グループ社員とご家族、テナント様やお取引先様、地域の皆様約1万名(1回目:10,164名、2回目:10,149名)に接種を受けていただきました。

お客様へ安全に商品を提供するため、コロナ禍においては、従業員の勤怠管理方法など、状況に合わせて対応することで店舗営業への影響を最小限に抑えています。



関連するSDGs



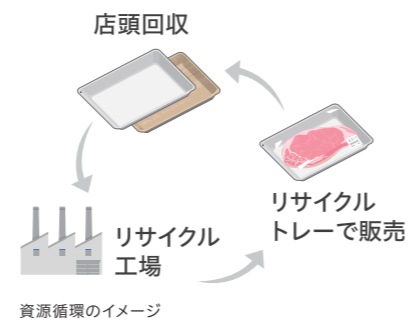
重要課題

廃棄物 廃棄物の削減

世界では、海洋プラスチック問題といった環境汚染の深刻化や、食品ロスなどの廃棄物に関連する多くの問題があります。平和堂はお客様やお取引先様、地域とともに廃棄物の削減に向けて取組みを進めています。

プラスチック削減対策

平和堂オリジナルブランド「E-WA！」商品では、プラスチック削減のため包材の減量化等を進めており、一部の商品では従来からプラスチックを30%減量しています。また、ペットボトルや食品トレーの店頭回収を推進し、回収品をリサイクルして再生された「エコトレー」を利用して循環させています。



食品ロス対策

平和堂では農協や地元生産農家と協力し、コロナ禍で販路をなくしたり、市場に出回らない規格外のいちごを活用し、平和堂ブランド「E-WA！滋賀県産いちごのチューハイ」を生産したりするなど、食品ロス削減の取組みを行っています。こうした取組みをはじめ、農産物の新しい付加価値の創出、地産地消の推進など、広く地域農業の活性化に貢献している取組みが評価され、「令和3年度地産地消等優良活動表彰 近畿農政局長賞」を受賞しました。

また、食品ロス削減のための食材活用術を掲載したお料理冊子「美味食彩」の配布やPOPでの啓発など、店頭での対策にも取り組んでいます。

さらに、2021年は店舗でのフードドライブのための活動場所の提供のほか、6月からは店頭で販売期限を迎えた精米の寄付を開始し、2021年度に寄付した精米は約1.7トン、滋賀県内の子ども食堂等の運営や、食材を必要としておられる方々のために活用いただきました。



E-WA! 滋賀県産いちごのチューハイ



食品リサイクル

商品加工時に発生する野菜くずや魚アラはリサイクルで堆肥化・飼料化されています。一部の野菜くずは平和堂で販売する野菜の肥料として活用され、育てられた野菜は「循環エコ野菜」として、平和堂で販売しています。

「循環エコ野菜」のシステム



重要課題

温室効果ガス CO₂排出量の削減

関連するSDGs



再生エネルギーの活用による温室効果ガスの削減や省エネルギー設備を導入することで、低炭素社会の実現に向けて取り組んでいます。

太陽光発電設備

建物屋上などの施設を太陽光発電などの再生可能エネルギー事業に活用することで、環境への負荷を低減し、低炭素社会の実現に向けての取組みを進めています。2021年度はフレンドマート八幡鷹飼店(150kw)、平和堂石山(100kw)に新規導入し、導入施設は23施設になりました。



太陽光パネル



省エネ機器導入

平和堂では店舗照明のLED化や冷蔵設備の更新を進めることで節電に取り組み、CO₂排出抑制に努めています。2021年度は4,061t-CO₂/m²のCO₂を削減し、前年度比3.6%の対策を実施しました。



LED照明の設置

重要課題

商品調達 商品調達基準の整備

関連するSDGs



平和堂は安全・安心とコスト競争力を両立する原材料の調達を実現できるよう、調達の基準を整備しています。

環境配慮型商品

素材・製法や機能にこだわる平和堂オリジナルブランド「E-WA！」。その中でも環境に配慮しているアイテムは24種類あります。

衣料品では、サステナビリティを意識して生産されるUSAコットンを使用した商品を開発、また住居関連品では、店頭回収した牛乳パックを原料の一部としている「芯なしトイレトペーパー」を販売しています。



芯なしトイレトペーパー